

仮想アース Crystal E の導入(15)(HP 収載)  
—仮想アースの製作(3)—

1. 始めに

前報(12)および前報(14)で制作した仮想アースの適用対象を替えて試聴します。

2. 仮想アース製作と試聴方法

使用した仮想アースの製作は、前報(12)および前報(14)のとおりです。

前報(12)および前報(14)では、スピーカー入力端子への適用をTANNOY Autograph MINIで行い、効果を認めましたので、今回は、メインのFAL C90EXWのシステムで試聴します。

FAL C90EXW はバイワイアリングとしており、設置場所の都合上、仮想アースの置き場所の確保や接続の作業性が悪いので、次善の策として下記のような接続方法としました。

300B シングルアンプから FAL C90EXW への接続は、インフラノイズ社のムジカライザーを介在させており、300B→ムジカライザー→FAL C90EXW のラインのムジカライザーからバイワイアリングとしています。High/Low2本のスピーカーケーブルは、バナナプラグを使って結線していますので、このバナナプラグに仮想アースを接続します。



音源は、前報(14)のバッハの Sonatas & Partitas と倍賞千恵子に加えて、クレンペラー指揮フィルハーモニアのヘンデルのメサイアも聴いてみました。

### 3. 仮想アースの試聴結果

#### 前報(12)の仮想アースの接続の場合

バッハの *Sonatas & Partitas* では、仮想アースを接続しますと、高域の透明度が向上し、音の焦点があってボウイングの様子がしっかりとれるようになります。

倍賞千恵子では、仮想アースを接続しますと、声や伴奏楽器の音の焦点があい、緻密な表現になってくる感じです。

ヘンデルのメサイアでは、仮想アースを接続しますと、オーケストラや合唱の分離が向上し、楽器やソプラノやバスの声の焦点が合い、通奏低音も明瞭になります。

#### 前報(14) の仮想アースの接続の場合

バッハの *Sonatas & Partitas* では、仮想アースを接続しますと、前報(12)の仮想アースの接続の場合とまったく同様の変化が感じられますが、その変化はより強く感じられ、ボウイングの力強さが出てきます。

倍賞千恵子では、仮想アースを接続しますと、前報(12)の仮想アースの接続の場合とまったく同様の変化が感じられますが、その変化はより強く感じられ、ボーカルのニュアンスがより明瞭になり、バックの伴奏の音も弾んでいます。

ヘンデルのメサイアでは、仮想アースを接続しますと、前報(12)の仮想アースの接続の場合とまったく同様の変化が感じられますが、その変化はより強く、合唱の分離やソプラノの透明感や通奏低音のも明瞭度で明らかです。

以上から、当面、より効果の大きかった前報(14) の仮想アースを残すこととし、前報(12)の仮想アースは、EMT981に戻します。

前報(12)の仮想アースを EMT981 に接続し、前報(14) の仮想アースをスピーカークーブルに接続した状態で EMT981 により CD を再生してみましたが、両方の効果が合わさったような再生になりました。

### 4. まとめ

オーディオ仲間とオーディオ誌などからの情報を基に自作した仮想アース 2 種の効果を FAL のスピーカーシステムへの適用において認めましたが、前報(14) の仮想アースの方の効果がより大きいと言えます。

以上